

第四期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会
（第9回）議事要録

- 日時 平成31年3月11日（月）19時04分～21時21分
- 場所 市役所西棟4階413会議室
- 出席 小澤紀美子会長、水谷俊博副会長、早川峻委員、高橋豊委員、村井寿夫委員、塩澤誠一郎委員、藻谷征子委員、島英二委員、木村文委員、千綿澄子委員、越智征夫委員、高石優委員、島森和子委員、花俣延博委員、新垣俊彦委員
事務局（恩田副市長、木村部長他）
コンサルタント（株式会社日建設計 高津敬俊部長他）、傍聴者0名
- 欠席 高橋健一委員、興梠信子委員、岡田敬一委員、平田昭虎委員、山崎君枝委員、花俣延博委員
- 配布資料 1. 第四期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会報告書（案）
2. 興梠委員、木村委員からのご意見

午後7時04分 開会

○会長 いよいよ最終回で、皆さんの貴重な御意見がきちんと、まとまりましたので、議論をよろしくお願ひしたい。

1. 報告書（案）について

- ・報告書（案）について事務局から説明し、委員から補足した。
- ・資料2について、委員から説明した。

○会長 それでは、各章ごとに意見を伺う。2ページ目の「はじめに」きょう皆さんから一言ずついただいたものを参考にさせていただきながら、この後私が執筆する。

事務局から説明のあった4ページの「『全市民的視点』と『次世代へのまなざし（責任感）』を持って取り組むことが重要だ。」という部分は、何となく唐突に入っているような気もしますが、この辺やそのほか第1章について御意見はあるか。

○委員 「全市民的視点」というのを◎と下線で、相当強調している。全市民的視点というのは第1回の周辺協議会から繰り返し言われてきて、最後に至ってまたさらに強調というもの。

○会長 では、ここは行間あいているので、この◎と下線はなくてもいいかもしれない。

○委員 今読むと、なくてもいいように思う。

○会長 この前のパラグラフにも同様のことが書いてある。

○委員 補足的な感じで「全市民的視点」を説明しては。

○会長 文章化し、下線をとってはどうか。

○一 同 同意。

○会長 1章のところで5ページに図が入りわかりやすくなったかとも思う。

○委員 「次世代のまなざしを持って目標」も唐突では。

○会長 とってもいいかもしれない。

- 委員 なしでいいと思う。
- 委員 7ページの◎と下線は、いかがでしょうか。
- 委員 8ページにも書いてある。
- 委員 じゃあ、とりましょう。
- 会長 次、第2章、エコプラザに関して。
- 委員 エコプラザのところはいいのでは。大分、市民会議で議論している。
- 会長 それでは、次の3章「市役所北エリア」について、いかがでしょうか。
- 委員 24ページのアンダーラインも、何となく唐突感がある。
- 事務局 今まで文章化されてなかった部分を今回は事務局が文章化したが、文章化しきれなかった部分がところどころこういうところが残っているようだ。
- 会長 少しわかりにくい気がするので、委員が責任持ってここを修復、修正する。
- 委員 24ページの「3方よし」は要らない。なくてもいいような気がする。その下は結構大事なことだが、すごくさらっと書いてある。
- 会長 4つの視点のつながりがわかるように、文章化した方がよい。
- 委員 上の「新クリーンセンターはすべての面がおもてになる」と同じ並びで、周辺とのつながりを書き、具体例としてこの有機的なつながりとか視覚的なつながりみたいなことを意識しようという形にできればと思う。アンダーラインの部分も不要。市役所北エリアというふうに、周辺地域とのつながりや広がり的大事にするとかと言って、そのつながりとか広がりというのは有機的なつながりであり、視覚的なつながりであり、景観的なつながりであり、緑のつながりであるというふうな文章にすればいいと思う。
- 委員 話がまとまってきて、だんだんと形が見えてきたような気がするが、どんな担い手がどんな仕組みでどういうふうにやっていくのかが、具体的に見えない。
- 委員 1つのアイデアとして、37ページの北エリアフォーラムがある。ここに関係する人たちが意見調整して、担い手になっていく場をつくりましょうということである。
- 委員 38ページの防災について、「■地域団体との協力」というのは、地域団体との協力の可能性という意味か。
- 事務局 協力というより連携という表現が適切かもしれない。作業部会で話し合った中で、事業者としては、地域団体の皆さんと連携してできる内容をまとめさせていただいた。やり方については今後また話し合いをしていかなければいけない。
- 委員 地域団体との連携案がいいのではないか。
- 委員 災害が夜間起きた場合には、対応できる職員がいるのか。
- 会長 発災からやはり3日は経ないと、行動に移せないと思う。
- 会長 地域の団体との「協力」を「連携」に修正し、「情報提供のサービスを行うことを確認した」ではなく、「行うことも今後とも継続して検討していく」や「運営事業者は災害発生時に以下のとおり地域団体との連携、情報提供などのサービスを行うことを確認していく」とした方がよい。
- 次、4章はいかがか。事務局から、見出しについて意見を求めるとの説明があったが。
- 委員 事務局説明の周辺まちづくりの基本方針にのっとって見出しをつけることにこだわったというのは理解できるが、これだけだと中身が伝わりにくように思う。

○会長 「まちづくりとの連携」を表題とし、「市民と行政のまちづくりの連携」を小見出しとしては。

○委員 全体的にみると、この3つの柱に照らして、各章が整理できる。そういう意味で、この3つは共通していたほうが良いと思うが、委員の趣旨もわかるので、小見出しがよいと思う。

○会長 では、小見出しとする。

それから45ページの下2行目、「公共施設が集積している特性を活かし、駐車場や会議室の相互利用により、公共空間の有効利用の推進を図っていきたい。」を削除してほしいという意見が出ているようだが。

○委員 パークタウンは周りにいろいろ公共施設があって、その都度駐車場の問題でいろいろ話し合ってきた。総合体育館ができるときも、駐車場をつくらなくて良いのか市に確認したら、公共交通機関の利用を進めるので、これ以上はつくる気はないとのことであった。エコの観点もあるし、駐車場まで相互利用をしてほしくない。パークタウンの中に不法駐車が今でもある。基本的に駐車場の利用はできるだけ控えていただきたい。

○委員 北町の駐車場で言うと、大野田小の前の道に幾つかの公共駐車場がある中で、あの辺の交通をうまくさばけるようにしたいとの趣旨で以前から発言してきたが、この文章だとちょっと意味合いが違ってしまう。うまい文言に変えられればよいが。

○会長 会議室の相互利用についても当初からずっと意見が出ていたと思う。

○委員 効率化をして相互利用していきましょうということが良いと思う。

○委員 では「駐車場や」は、削除できないか。

○委員 「駐車場」をとって「会議室等の相互利用」としてはどうか。

○委員 60ページの周辺まちづくりの検討案について、大切な施設は公共施設か。

○委員 おおむね公共施設としている。

○委員 例えば、団地の集会所は入れないのか。

○委員 入れてないが、入れたほうが良いかもしれない。

○委員 でも、公共の施設ではない。

○委員 公共的な施設だからよいのでは。

○委員 コミュニティのところには入っている。

○委員 そうすると、都営の集会所も入れた方がよいか。

○委員 その団体にとって大切な話し合いの拠点であれば、入れたほうが良いと思う。

○委員 利用者だけでなく地域に必要とされ、地域住民に親しまれる公益施設であれば入れるべきと思う。

○委員 第3都営の集会所は広く、色々なことで使っているが、第2都営は、狭いこともあり住人の利用がほとんどである。子供たちの関係で、学校関係なんかの会議なんかのときは使っている。

○委員 第3都営の集会所も、説明会などで利用しているし、入れた方がよいかもしれない。

○委員 緑懇話会でも、よく使っている。

○会長 では、集会所を追加することにする。

2. 各委員より感想

・各委員より第四期協議会についての感想をいただいた。

○委員 居住してない外部からの意見という格好で今まで議論に携わっているので客観的に見られる部分もあったが、身近なものに感じられないという点多々あったので、もう少し全市民的に広がりを持ってこれを受けとめてもらうようにしていくことが一番大事な部分だと感じた。

○委員 市民全体で考えていく大切さというのをすごく感じたので、そこへつなげられるような何かをエコプラザで強く出せたらいいと思う。

○委員 何をやるかという具体的なことをまず決めないと手が挙がらないと思う。市のやるべきまちづくりとしての部署がいろいろとあるが、それが一番近い部署にそれに特化したものをつくって、その中から具体的なことを決めないと、私がこれをやりますと言えない。

○会長 ずっと住民参加型でやってきて、クリーンセンターが完成し、その周辺エリアのまちづくりの方向性を具体化して考えてきた。行政の一部門だけではなかなかできないと思うが、そういう意見もあったということは後書きに書いていただく。

○委員 デザイン的にも「3方よし」という形でみんなの力によってできたということ、クリーンセンターとエコプラザがセットで次の世代の子供たちに担ってもらうことにつながり、終わりのない環境をつくっていくところにつながるのはいいいことだと思う。

○委員 大変な思いをしてこのようにクリーンセンターができたというところに、私も参加させてもらったことは本当にうれしく思う。そして30年後今の小さな子供たちが大きくなったときに、周辺住民協議会の皆さんのおかげだと喜ばれるようなエコプラザをつくってもらいたい。

○委員 クリーンセンターの建てかえということだけではなく、周辺住民やそのほかのいろいろな機関の方々と一緒にまちづくりを話し合ったということが意義のあることだったと思う。迷惑施設と言われたところをこれからプラスの施設にしていく、これからは問われると思っている。

○委員 作業部会が頻繁に行われたが、よくここまでまとめていただいたなと思う。これは事務局の皆さんの努力もさることながら、意見を申す皆様もそれなりのことを考えながら話し合いが行われたのだなという印象。

○委員 市と住民との話し合いの場を持ったことが、何よりもこの地域の誇れる運営の協議会のあり方だったと思う。いい施設であるように運営していただきたいし、この煙突とクリーンセンターは住民の1人として誇れる施設である。

○委員 自分たちの地域のまちづくりについて検討してきて、具体的に形になってないという高石委員の意見もあるが、でもこうやって議論していくことも大事だと感じた。この周辺整備協議会のモデルは全市に広げていっていいのではないかと思う。

○委員 60ページの図にある緑の固まりにはすごい求心力がある。運動場、文化会館、中央公園などが全部この中であって、その中心にクリーンセンターとエコプラザがある。これはすごいことになる感じがしていて、これからますます期待できると思っている。

○委員 地域の人が地域のことをわかっていない。都度啓蒙はしているつもりだが、発信をしていく力が大事だと思う。高石委員のお話もあったが、どうやってフォーラムをやっていくかにおいても、これから議論していただいて、いいものをつくっていただくとうれしい。

○委員 委員からも話が出たとおり、我々がこれからも一番関心を持って進めなければいけないと考えている。絵に描いたもちにならないように、いかに実現していくかということのをこれからどんどんやっていかなければいけない。これは大切だと感じた。

○副会長 クリーンセンターとエコプラザを整備する中で、それにとどまらず、周辺まちづくりまで話が展開して、こういった協議会で議論できたということは非常に意味があると思った。通常的设计では地域のコンテクストを読み込んで設計に落とし込んでいくわけだが、その施設を軸にしてさらに周辺にフィードバックしていく構成になっている。きょうの報告書がまさにそういう構成で非常に勉強になった。

○会長 まちづくりにはパティシペーション（参加型）、パッション（情熱）、パートナーシップ（連携）、の3つのPが大事だと思っている。行政、市民、専門家との3つのPがなければまちづくりは失敗に終わると考えてやってきたので、今後もよろしく願います。ありがとう。

3. その他

・今後のスケジュール他について事務局から報告した。

○事務局 本日御議論いただいた内容を報告書案に反映し、小澤会長と協議して報告書を確定したい。その後、3月末か4月の初旬に、市長にこの報告書を協議会から報告していただきたいと思っている。こちらで日程を決めて皆さんに御案内するので、御都合のつく方、市長への報告の際にぜひ御同席をお願いしたい。

○事務局 子どもワークショップウイークのチラシを配布した。TeensTown むさしのという市内の大学生の有志の実行委員会が、グリーンセンターの中に小規模なミニタウンをつくる企画である。好評で申し込みはいっぱいになっているが、もし興味のある方がいれば見学に来ていただければと思う。

午後9時21分 閉会